

令和5年度 第1学年 国語科 年間指導計画(年間140時間)

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・課題意識をもって話を聞いたり、文章を読んだりして、自分のものの見方や考え方を深める。 ・自分の考えを明確にし、目的や場面にに応じて話したり、論理的に文章を書いたりすることができる。
-----	--

評価の観点 **知・技** 知識・技能 **思・判・表** 思考・判断・表現 **主** 主体的に学習に取り組む態度

月	教材名【領域】 ●学習目標	時数	主な学習活動	評価規準	評価方法
4	朝のルー【読む(詩)】 ●詩の構成や表現の効果について考えながら、情景を想像して音読する。(Cエ) ●詩を読んで感じたり想像したりしたことを共有する。(Cオ)	2	1 詩の構成や表現の効果について考えながら、情景を想像して音読する。 2 詩を読んで感じたり想像したりしたことを共有する。	知・技 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ) 思・判・表 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えを確かなものにしている。(Cオ) 主 進んで自分の考えを確かなものにし、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	観察 テスト 音読 暗誦 ワークシート スピーチ 提出物 作文 ワーク
	竜【読む(物語)】 ●描写をもとに三太郎の心情の変化を捉える。(Cイ) ●擬態語などの表現の工夫に着目して読み、表現の効果について考える。(Cエ)	4	1 本文を通読し、場面ごとの内容を捉える。 2 描写をもとに三太郎の心情の変化を捉える。 3 擬態語などの表現の工夫に着目して読み、表現の効果について考える。 4 物語における表現の効果について考えを深める。	知・技 比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、使っている。((2)イ) 思・判・表 「読むこと」において、場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。(Cイ) 主 進んで心情の変化などを捉え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	
5	グループディスカッション 話題や展開にそって話し合いをつなげる【話す・聞く】 ●話題や展開にそって話し合いをつなげるための方法を理解し、活用する。(Aオ) ●必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、自分の考えをまとめる。(Aエ)	4	1 話題や展開にそって話し合いをつなげるための方法を理解する。 2 話し合いをつなげるための方法を、グループディスカッションで活用する。 3 記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、自分の考えをまとめる。	知・技 比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。((2)イ) 思・判・表 「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結びつけて考えをまとめている。(Aオ) 主 積極的に話題や展開を捉え、学習の見通しをもって話し合おうとしている。	
	言葉発見① 音声のしくみとはたらき ●音声のはたらきやしぐみについて理解を深める。(知・技(1)ア)	1	1 日本語の音節や五十音図のしくみなどを理解し、音声のしくみとはたらきについて考える。 2 「五十音図とローマ字」を見て、母音と子音のしくみを確認する。 3 「確かめよう」の課題に取り組む。 4 日本語と英語の音節の違いについて理解を深める。	知・技 音声のはたらきやしぐみについて、理解を深めている。((1)ア) 主 進んで音声のはたらきやしぐみについて理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	
6	漢字を身につけよう① ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)イ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。	知・技 常用漢字(300字～400字)を読んでいる。((1)イ) 主 進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	
	◆ 説明文の基本構造 ペンギンの防寒着 ●説明文の基本構造を理解する。(Cエ)	1	1 説明文の基本構造を理解する。	(※「クジラの飲み水」と合わせて評価する。)	
	クジラの飲み水【読む(説明)】 ●段落と段落の関係に着目しながら、文章の展開を捉え、内容を読み取る。(Cア) ●読み手にわかりやすく伝えるための、筆者の表現の工夫を捉える。(Cエ)	4	1 文章全体の構成と要旨を捉える。 2 表現の工夫を探して、その効果を捉える。 3 二つの文章を読み比べて、考えたことを発表する。	知・技 比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。((2)イ) 思・判・表 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(Cエ) 主 進んで文章の構成や表現の効果を捉え、学習課題にそって考えを報告しようとしている。	

月	教材名【領域】 ●学習目標	時数	主な学習活動	評価規準	評価方法
7	漢字のしくみ 1 活字と手書き文字・画数・筆順 ●活字と手書き文字・画数・筆順について理解を深める。(知・技(1)イ)	1	1 漢字の字体、書体の違いを理解する。 2 漢字の画数・筆順について理解する。 3 「確かめよう」の課題に取り組む。	知・技 常用漢字(300字～400字)を読んでいる。((1)イ) 主 進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	観察 テスト 音読 暗誦 ワーク シート スピーチ 提出物 作文 ワーク
	レポート 調べたことを整理してわかりやすくまとめる【書く】 ●調べて集めた情報を整理して、伝えたい内容を明確にする。(Bア) ●レポートの構成を理解し、表・グラフ・イラストなどを効果的に用いて書く。(Bイ)	5	1 身のまわりのものやできごとから課題を決める。 2 情報を集めて整理し、伝えたい内容を明確にする。 3 レポートの構成を理解し、表などを効果的に用いて書く。	知・技 比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。((2)イ) 思・判・表 「書くこと」において、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(Bア) 主 粘り強く集めた材料を整理し、学習の見通しをもってレポートを書こうとしている。	
	言葉発見② 話し言葉と書き言葉 ●話し言葉と書き言葉の違いについて理解を深める。(知・技(1)ア)	1	1 話し言葉と書き言葉の特徴について考える。 2 イントネーション・プロミネンスについて理解する。 3 「確かめよう」の課題に取り組む。	知・技 音声のはたらきやしぐみについて、理解を深めている。((1)ア) 主 進んで音声のはたらきやしぐみについて理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	
	漢字を身につけよう② ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)イ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。	知・技 常用漢字(300字～400字)を読んでいる。((1)イ) 主 進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	
	空中ブランコ乗りのキキ【読む(物語)】 ●描写をもとに、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などを捉える。(Cイ) ●登場人物の判断や行動について、自分の考えを確かなものにする。(Cオ)	4	1 登場人物の相互関係を捉える。 2 描写をもとに、場面の展開や心情の変化を捉える。 3 本文中の描写が表すものの意味について考える。 4 登場人物の判断や行動について、自分の考えを確かなものにする。	知・技 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。((2)イ) 思・判・表 「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。(Cイ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。(Cオ) 主 進んで自分の考えを確かなものにし、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	
	文法の窓 1 文法のまとめ 言葉の単位・文節の関係 ●言葉の単位・文節の関係について理解する。(知・技(1)エ)	3	1 「文法の窓 1」で言葉の単位・文節の関係について考える。 2 「文法のまとめ」「1 言葉の単位」で、言葉のまとまりについて理解する。 3 「文法のまとめ」「2 文節の関係・連文節文の成分」で、文の基本的なしくみについて理解する。 4 「確認しよう 1」の課題に取り組む。	知・技 単語の類別について理解している。((1)エ) 主 進んで単語の類別について理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	
	字のない葉【読む(随筆)】 ●場面と場面、場面と描写などを結びつけて、内容を解釈する。(Cウ) ●行動の描写をもとに、人物像や人物の心情の変化を捉える。(Cイ)	3	1 場面と場面、場面と描写などを結びつけて、内容を解釈する。 2 行動の描写をもとに、人物像や人物の心情の変化を捉える。 3 「私」の父に対する思いについて考える。	知・技 比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。((2)イ) 思・判・表 「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。(Cイ) 主 進んで心情の変化などについて描写をもとに捉え、学習課題にそって考えを記録しようとしている。	
	漢字のしくみ 2 部首と成り立ち ●漢字の部首と成り立ちについて理解を深める。(知・技(1)イ)	1	1 漢字の部首と意味の関係について理解する。 2 漢字の成り立ちについて理解する。 3 「確かめよう」の課題に取り組む。	知・技 常用漢字(300字～400字)を読んでいる。((1)イ) 主 進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	

月	教材名【領域】 ●学習目標	時数	主な学習活動	評価規準	評価方法
	随筆 体験に向き合い意味づける【書く】◇ ●日常生活の体験の中から題材を決め、表現したいことの内容を明確にしてまとめる。(Bア) ●交流をとおして、表現のよい点や改善点を見つける。(Bオ)	4	1 日常生活の体験の中から題材を決める。 2 表現したいことの内容を明確にしてまとめる。 3 交流をとおして、表現のよい点や改善点を見つける。	知・技 比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。((2)イ) 思・判・表 「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決めている。(Bア) 主 粘り強く日常生活の中から題材を決め、学習の見通しをもって随筆を書こうとしている。	観察 テスト 音読 暗誦 ワークシート スピーチ 提出物 作文 ワーク
	私の読書体験 本を読むことのおもしろさ ●読書が知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることを理解し、読書を通して自分の考えを確かなものにする。(知・技)	2	1 教材文を読み、感想を交流する。 2 本を選んで読み、自分の考えを広げたり深めたりする。	知・技 読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。((3)オ) 思・判・表 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。(Cオ) 主 進んで自分の考えを確かなものにし、学習したことを生かして学校図書館などを利用し、多様な情報を得ようとしている。	
	漢字を身につけよう㉔ ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)イ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。	知・技 常用漢字(300字～400字)を読んでいる。((1)イ) 主 進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	
9	◆ 玄関扉【読む(説明)】 ●文章の要旨を捉え、筆者の考えに対して自分の考えをもつ。(Cア、Cオ) ●論の展開・構成をふまえて、「外開き」が肯定される過程を捉える。(Cエ)	4	1 文章の構成と要旨を捉える。 2 「内開き」についての筆者の考えを整理する。 3 論の展開・構成をふまえて、「外開き」が肯定される過程を捉える。 4 筆者の考えに対して自分の考えをもつ。	知・技 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。((2)イ) 思・判・表 「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。(Cア) 主 進んで事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、学習課題にそって考えをまとめようとしている。	観察 テスト 音読 暗誦 ワークシート スピーチ 提出物 作文 ワーク
	言葉発見③ 接続する語句・指示する語句 ●指示する語句と接続する語句の役割について理解を深める。(知・技(1)エ)	1	1 接続する語句について理解する。 2 指示する語句について理解する。 3 「確かめよう」の課題に取り組む。	知・技 指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。((1)エ) 主 進んで指示する語句と接続する語句の役割について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	
	スピーチ構成を工夫して魅力を伝える【話す・聞く】 ●日常生活を振り返って話題を選び、自分の考えが明確になるように、構成を工夫する。(Aア、Aイ) ●聞き手の反応をふまえながら、表現を工夫して話す。(Aウ)	5	1 日常生活の中から話題を探す。 ・スピーチの内容を考える。 2 自分の考えが明確になるように、構成を工夫する。 3 聞き手の反応をふまえながら、表現を工夫して話す。	知・技 原因と結果、意見と根拠など、情報と情報との関係について理解している。((2)ア) 思・判・表 「話すこと・聞くこと」において、自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている。(Aイ) 主 積極的に構成を考え、学習の見通しをもって話そうとしている。	
	漢字を身につけよう㉔ ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)イ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。	知・技 常用漢字(300字～400字)を読んでいる。((1)イ) 主 進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	
10	月を思う心【読む(解説)】 ●古典の世界への理解を深め、月と人々との関わりについて考える。(知・技(3)イ、Cア)	1	1 月と人々との関わりについて考える。	知・技 古典にはさまざまな種類の作品があることを知っている。((3)イ) 思・判・表 「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。(Cア) 主 進んで要旨を把握し、学習したことを生かして考えたことを報告しようとしている。	

月	教材名【領域】 ●学習目標	時数	主な学習活動	評価規準	評価方法
	竹取物語【読む(古文)】 古文の読み方 古典の仮名遣い ★ ●古文の仮名遣いやリズムに注意して音読し、古典の世界を感じ取る。(知・技(3)ア) ●登場人物の相互関係や心情の変化について、描写をもとに捉える。(Cイ)	4	1 古文の仮名遣いやリズムに注意して音読し、内容を捉える。 2 登場人物の相互関係や心情の変化について、描写をもとに捉える。 3 古典の世界を感じ取り、現代と比べて考えを広げる。	知・技・音読に必要な文語のきまりを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。((3)ア) 思・判・表・「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。(Cイ) 主・進んで登場人物の相互関係や心情の変化を描写をもとに捉え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	観察 テスト 音読 暗誦 ワークシート スピーチ 提出物 作文 ワーク
	表現プラザ変わり身の上話【書く】 ●目的や意図に応じて、身のまわりから題材を取り上げて書く。(Bア) ●交流をとおして題材の特徴の捉え方や発想のおもしろさ、表現の工夫などを見つける。(Bオ)	2	1 目的や意図に応じて、身のまわりから題材を取り上げて書く。 2 交流をとおして題材の特徴の捉え方や発想のおもしろさ、表現の工夫などを見つける。	知・技・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の碎書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことをおとして、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ) 思・判・表・「書くこと」において、根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などをふまえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(Bオ) 主・粘り強く文章のよい点や改善点を見だし、学習の見通しをもって短い話を書こうとしている。	
	故事成語——矛盾【読む(漢文)】 漢文の読み方、訓読の仕方 ●訓読の仕方を知り、漢文調のリズムを意識して音読する。(知・技(3)ア) ●話の展開を捉え表現の効果について考える。(Cエ)	3	1 訓読の仕方を知り、漢文調のリズムを意識して音読する。 2 「矛盾」の話の展開を捉え、他の故事成語について調べる。 3 故事成語の優れた点やおもしろさ、表現の効果について考える。	知・技・音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読し、古典特有のリズムをとおして、古典の世界に親しんでいる。((3)ア) 思・判・表・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(Cエ) 主・進んで文章の構成や表現の効果を捉え、学習課題にそって考えを記録しようとしている。	
	漢字のしくみ 3 漢字の音と訓 ●漢字の音と訓について理解を深める。(知・技(1)イ)	1	1 漢字の音読みと訓読みについて理解する。 2 同音異字と同訓異字について理解する。 3 「確かめよう」の課題に取り組む。	知・技・常用漢字(300字～400字)を読んでいる。((1)イ) 主・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	
	漢字を身につけよう⑤ ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)イ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。	知・技・常漢字(300字～400字)を読んでいる。((1)イ) 主・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	
11	◆ 複数の情報を関連づけて考えをまとめる【情報】 防災に関するデータ 【読む(図表)】 「みんなであるから大丈夫」の怖さ 【読む(記録)】 ●意見と根拠などの関係に注意し、互いの発言を結びつけながら話し合い、考えをまとめる。(知・技(2)イ, Aオ) ●原因と結果、意見と根拠などの関係に注意しながら、文章などを読んで理解したことをもとに自分の考えをもつ。(知・技(2)ア, Cウ)	5	1 資料A「防災に関するデータ」のグラフを読み取る。 2 グラフから読み取ったことをもとに、課題について話し合う。 1 資料B「『みんなであるから大丈夫』の怖さ」を読む。 2 筆者の意見を捉える。 1 資料Aと資料Bを関連づける。 2 課題について、自分の考えをまとめる。 1 グループで話し合っ、考えを深める。	知・技・因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) ・較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。((2)イ) 思・判・表・話すこと・聞くことにおいて、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結びつけて考えをまとめている。(Aオ) ・読むことにおいて、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。(Cウ) 主・積極的に情報と情報との関係に注意して内容を解釈し、学習の見通しをもって話し合い、考えをまとめようとしている。	

月	教材名【領域】 ●学習目標	特徴	主な学習活動	評価規準	評価方法
	行事案内リーフレット 必要な情報をわかりやすく伝える【書く】◇ ●集めた材料を、書く目的や意図に応じて整理し、伝えたいことを明確にする。(Bア) ●読み手の立場に立って文章を読み返し、表記や表現の仕方を整える。(Bエ)	4	1 リーフレットに掲載する内容を決める。 2 構成を考える。 3 推敲する。	[知・技] 比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。((2)イ) [思・判・表] 「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。(Bエ) [主] 粘り強く表記や語句の用法を確かめ、学習の見通しをもって行事案内リーフレットを書こうとしている。	観察 テスト 音読 暗誦 ワークシート スピーチ 提出物 作文 ワーク
	文法の窓 2 文法のまとめ 単語の類別・品詞 ●単語の類別・品詞について理解する。(知・技(1)エ)	3	1 「文法の窓 2」で単語の類別や品詞について考える。 2 「文法のまとめ」「3 単語の類別・品詞」で、言葉のまとまりについて理解する。 3 「文法のまとめ」「4 名詞」「5 副詞・連体詞・接続詞・感動詞」で、各品詞の特徴を理解する。 4 「確認しよう 2」の課題に取り組む。	[知・技] 単語の類別について理解している。((1)エ) [主] 進んで単語の類別について理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	
	漢字を身につけよう㊦ ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)イ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。	[知・技] 常用漢字(300字～400字)を読んでいる。((1)イ) [主] 進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	
12	それだけでいい【読む(詩)】 詩の表現技法 ●詩の中の言葉を的確に捉えて、内容を理解する。(Cウ) ●表現に着目しながら読み、その特徴と効果について自分の考えをもつ。(Cエ)	2	1 詩の中の言葉を的確に捉えて、内容を理解する。 2 表現に着目しながら読み、その特徴と効果について自分の考えをもつ。	[知・技] 比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。((2)イ) [思・判・表] 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(Cエ) [主] 進んで文章の構成や展開、表現の効果を捉え、学習課題にそって考えたことを伝え合おうとしている。	
	言葉発見④ 比喩・倒置・反復・対句・体言 ●比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解しよう。(知・技(1)オ)	1	1 比喩(直喩・隠喩・擬人法)について理解する。 2 倒置・反復・対句・体言止めについて理解する。 3 「確かめよう」の課題に取り組む。	[知・技] 比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。((1)オ) [主] 進んで表現の技法を使い、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	
	詩 思いや発見をリズムに乗せる【書く】 ●日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理して、伝えたいことをしぼり込む。(Bア) ●自分の感じたことが効果的に伝わるように、表現を工夫し、作品全体を整える。(Bエ)	4	1 日常生活の中から題材を決め、集めた題材を整理して、伝えたいことをしぼり込む。 2 自分の感じたことが効果的に伝わるように、表現を工夫する。 3 推敲して作品全体を整える。 4 交流をとおして、表現のよい点や改善点を見つける。	[知・技] 比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。((2)イ) [思・判・表] 「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。(Bエ) [主] 粘り強く叙述の仕方などを確かめ、学習の見通しをもって詩を書こうとしている。	
	トロッコ【読む(小説)】 情景描写 ●人物の言動に着目して、心情の変化を捉える。(Cイ) ●情景描写と場面の展開を捉え、表現の効果について考える。(Cウ, Cエ)	5	1 主人公のトロッコに対する思いを捉える。 2 人物の言動に着目して、心情の変化を捉える。 3 情景描写と場面の展開を捉え、表現の効果について考える。 4 最後の一文に描かれた情景から、作品を読み深める。	[知・技] 比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。((2)イ) [思・判・表] 「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結びつけて内容を解釈している。(Cウ) [主] 進んで場面と描写などを結びつけて内容を解釈し、学習課題にそって考えたことを記録しようとしている。	

月	教材名【領域】 ●学習目標	時数	主な学習活動	評価規準	評価方法
	読書活動 ブッククラブ 【話す・聞く】 ●読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解する。(知・技(3)オ) ●話し手の考えとの共通点や相違点をふまえながら、自分の考えをまとめる。(Aエ)	2	1 本を読み、紹介したい内容を考える。 2 グループで意見を交流し、読んだ本について自分の考えをまとめる。	知・技 ・引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ) ・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。(3)オ) 思・判・表 ・「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などをふまえて、自分の考えをまとめている。(Aエ) 主 ・積極的に自分の考えをまとめ、学習の見通しをもって紹介したいことを話したり聞いたりしようとしている。	観察 テスト 音読 暗誦 ワークシート スピーチ 提出物 作文 ワーク
	漢字を身につけよう⑦ ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)イ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。	知・技 ・常用漢字(300字～400字)を読んでいる。(1)イ) 主 ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組みようとしている。	作文 ワーク
1	意味と意図—コミュニケーションを考える 【読む(説明)】 要約 ●必要な情報に着目して文章を要約し、内容を捉える。(Oウ) ●文章で読んで理解したことをもとに、自分の考えを深める。(Cオ)	4	1 文章に示された事例について、比較して捉える。 2 必要な情報に着目して文章を要約し、内容を捉える。 3 文章を読んで理解したことをもとに自分の考えを深める。	知・技 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ) 思・判・表 ・「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。(Oウ) 主 ・進んで必要な情報に着目して要約し、学習課題にそって理解したことを文章にまとめようとしている。	観察 テスト 音読 暗誦 ワークシート スピーチ 提出物 作文 ワーク
	言葉発見⑤ 方言と共通語 ●共通語と方言の果たす役割について理解する。(知・技(3)ウ)	1	1 地域による言葉の違いがあることを理解する。 2 方言のアクセントの特徴について考える。 3 方言と共通語の使い分けについて考える。 4 「確かめよう」の課題に取り組む。	知・技 ・共通語と方言の果たす役割について理解している。(3)ウ) 主 ・進んで共通語と方言の果たす役割について理解し、学習したことを生かして課題に取り組みようとしている。	
	意見文 根拠を明確にして考えを述べる【書く】 ●伝えたい内容の中心が明確になるように、文章の構成や根拠の明確さを意識してまとめる。(Bイ、Bウ) ●根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などをふまえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだす。(Bオ)	6	1 交流をとおして意見をまとめる。 2 意見の根拠を明確にして意見文を書く。 3 読む人に内容が伝わりやすいタイトルを考える。 4 書いた意見文を読み合い、意見や感想を交流する。	知・技 ・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) 思・判・表 ・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(Bイ) ・「書くこと」において、根拠を明確にししながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(Bウ) 主 ・粘り強く根拠が明確になるよう工夫し、学習の見通しをもって意見文を書こうとしている。	
	漢字を身につけよう⑧ ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)イ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。	知・技 ・常用漢字(300字～400字)を読んでいる。(1)イ) 主 ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組みようとしている。	
2	少年の日の思い出 ◆【読む(小説)】語り手・視点 ●登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉える。(Cイ) ●過去を回想する構成や語り手の視点を捉え、表現の効果について考える。(Cエ、Cオ)	5	1 過去を回想する構成と登場人物の相互関係を捉える。 2 登場人物の人物像を、描写をもとに捉える。 3 登場人物の心情の変化を、描写をもとに捉える。 4 語り手の視点を捉え、表現の効果について考える。	知・技 ・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) 思・判・表 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(Cエ) 主 ・進んで文章の構成や表現の効果捉え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	
	漢字を身につけよう⑨ ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)イ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。	知・技 ・常用漢字(300字～400字)を読んでいる。(1)イ) 主 ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組みようとしている。	

月	教材名【領域】 ●学習目標	単数	主な学習活動	評価規準	評価方法
3	グループ新聞 一年間の自分とクラスを振り返って 【話す・聞く】【書く】 ●取材して集めた情報を、編集会議によって検討したり整理したりして、考えをまとめる。(Aア, Aオ) ●読み手の立場に立って文章を読み返し、表記や表現の仕方などを確かめて、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する。(Bウ, Bエ)	8	1 編集会議を開き、記事の内容を決める。 2 レイアウトを決めて、記事を書く。 3 記事を推敲し、紙面を作る。 4 新聞を読み合う。	知・技 比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ 思・判・表 「話すこと・聞くこと」において、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(Aア) 「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。(Bエ) 目 積極的に伝え合う内容を検討し、粘り強く表記や語句の用法を確かめ、学習の見通しをもってグループ新聞を作ろうとしている。	観察 テスト 音読 暗誦 ワークシート スピーチ 提出物 作文 ワーク
	歌の言葉 栄光の架橋	-	-	-	
通年	書写★	20	硬筆・・・日本生活のいろいろな場面に応用できる美しい文字の書き方を学ぶ 毛筆・・・基本点画をもう一度練習しながら、さらに上級の課題に取り組んでいく。	丁寧に美しい文字を書くという目標を達成している。	

◆定期考査 ◇道徳 ★オリンピックパラリンピック教育 ☆人権教育

評価計画(各観点の評価方法)

観点	①知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにしていく。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを確かなものにしたしりながら、言葉がもつ価値に気付こうとしているとともに、進んで読書をし、言葉を適切に使おうとしている。
評 価 の 方 法	・漢字テストなどの小テスト ・定期考査 ・書写	・授業時に行う発表・話し合い活動 ・提出物(ワークシート、作文、レポート等) ・定期考査	・授業態度(発言／態度／忘れ物) ・試験の振り返りテスト ・提出物(ワークシート、振り返りカード、ワーク、ノート) ・定期考査

学習のアドバイス

<p>(1)授業態度</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的に発言をするなど、進んで授業に参加しましょう。 分からないところは自ら先生に質問したり、調べたりしましょう。 授業の中でまずは自分の考えをもち、先生の話や仲間の意見から学ぶ姿勢を大切にしてください。 <p>(2)提出物</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画的に学習を進め、期日を守って提出してください。 定期考査後や夏季休業明けなどには、ワークの提出が必要な場合があります。 漢字ノートは漢字テストの度にチェックしていきます。 提出物は再提出をしてもかまいません。 <p>(3)単元ごとのふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の課題を把握して、それを改善しようとするのが大事です。そのために単元の振り返りカード(色のついた紙)を活用してください。 評価基準は、年度当初の授業で出した通りです。 <p>(4)定期考査に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> 一番大切なのは授業プリントの見直しです。どのようなことを、どのようなプロセスで考えたのか復習しましょう。 ワークを解き直しましょう。答えを暗記するのではなく、なぜその問題が出されるのか、問われていることは何かを考えてみましょう。 漢字の問題が出題されます。漢字練習ノートを使って復習をしっかりとってください。
